



一宮市長
中野 正康

あけましておめでとうございます。

市民の皆さまにおかれましては、新しい時代「令和」となり初めての新春を晴れやかな気持ちで迎えられたことと、お慶び申し上げます。

本年は東京2020オリンピック・パラリンピックが開催されますが、一宮市でもオリンピックの聖火リレーやパラリンピックの採火式が実施されます。去年はラグビーワールドカップ2019の公認チームキャンプ地に選ばれましたが、引き続き、スポーツが盛んな健康的で爽やかなまちづくりを目指して取り組んでまいります。

当市にも大きな変化の時が訪れます。来年4月には、尾張地域で初めての中核市への移行を目指しています。保健所をはじめ多くの仕事が県から市へ移るので、保健や福祉、環境など市民生活に身近な分野で、よりきめ細やかな行政サービスが可能になります。

来年9月には「一宮市」ができて100周年となります。この節目を多くの方と慶びあう

とともに、まちの魅力を再発見・再確認し、地元への誇りを育む機会にするために、一宮市ならではの記念事業を実施できるよう準備を進めてまいります。

人・企業・投資を呼びこめるように、一宮駅周辺の容積率など規制の緩和に取り組み、また市内の交通渋滞を緩和するため、名岐道路や新濃尾大橋などの交通インフラの早期整備を、国や県と協力しながら進めています。災害にそなえた河川の整備のみならず、木曽川の美しく豊かな自然資源を活かしたミズベリングなどにも力を入れ、都会の便利さと田舎ののどかさを併せもった一宮市の住み良さを積極的に発信していきます。

新しい令和の時代も「みんなで作ろう一宮の時代」の精神で、一宮市の魅力をさらに磨き上げてまいります。

最後に、本年も皆さまが健康で明るくお過ごしいただきますことを、心からお祈り申し上げます。年頭のあいさつといたします。

迎えて



一宮市議会議長

太田 文人

あけましておめでとうございます。

市民の皆さまにおかれましては、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

昨年は、私たち日本国民にとって誇らしい出来事がありました。ラグビーワールドカップ2019日本大会がアジアで初開催され、日本代表は困難といわれた予選リーグを突破し、初の決勝トーナメントに進出しました。優勝国の南アフリカ共和国には惜しくも負けてしまいましたが、その雄姿に多くの方が勇気を与えられたのではないのでしょうか。

また、日常生活で広く使われている携帯電話やパソコン、電気自動車などの重要な部品であるリチウムイオン電池を開発した吉野彰さんがノーベル化学賞を受賞されました。

ラグビー日本代表も吉野彰さんも、この偉業を簡単に成し得たわけではありません。長い年月をかけて、地道な練習や研究を続けた結果であるということは言うまでもありません。夢に向かって努力を積み重ねていくこと、

このことが何より大事であることを改めて教えられた1年でした。

本市は、令和3年に市制施行100周年を迎えますが、この記念すべき年に中核市へ移行できるよう準備を進めています。中核市となることにより、市民の皆さまにより質の高い行政サービスを提供できるよう、市議会としてもしっかりと働き掛けをしていく所存です。

今後とも、議員一丸となり、分かりやすく開かれた市議会となるよう、取り組んでまいりますので、市民の皆さまの一層のご支援とご協力をいただきますようお願いいたします。

最後に、本年が皆さまにとってより良い年となりますよう祈念いたしまして、年頭のあいさついたします。